

## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月30日

上場会社名 株式会社ピクルスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2935 URL <https://www.pickles-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 影山 直司  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画部長兼 広報・IR室長 (氏名) 利根川 健一 TEL 04-2931-0777  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	10,498	△4.9	696	12.5	711	12.2	473	11.6
2026年2月期第1四半期	11,038	2.1	619	22.7	634	21.8	424	17.2

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 412百万円 (△6.7%) 2026年2月期第1四半期 441百万円 (20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	37.82	36.58
2026年2月期第1四半期	34.14	32.95

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	30,929	20,301	64.5
2026年2月期	30,204	20,053	65.1

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 19,953百万円 2026年2月期 19,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	15.00	—	14.00	29.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	15.00	—	14.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	△2.3	1,300	△17.2	1,326	△18.3	878	△20.4	70.10
通期	41,000	0.2	1,820	△12.7	1,860	△13.4	1,231	△11.0	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	12,858,430株	2026年2月期	12,858,430株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	262,600株	2026年2月期	330,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	12,530,434株	2026年2月期1Q	12,439,013株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、断続的な物価上昇や物流費・人件費の高騰に加え、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、インバウンド需要の拡大により外食需要は堅調に推移しているものの、食料品価格やエネルギー価格の高騰に伴う消費者の節約志向が強まり、内食需要は厳しい事業環境にあります。漬物等の「ご飯のお供」の関連製品についても、米価高騰の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州まで全国に展開している製造・販売のネットワークを活用し、新規得意先や新しい販路の開拓及び既存得意先の拡販に取り組みました。

販売面では、量販店向けに「ご飯がススム3種のキムチ盛合せ」等の重点商品の拡販を進めるとともに、コンビニエンスストア向けに積極的な商品提案を行いました。また、注力領域に掲げる「業務用商品の拡張」として、業務用のキムチや惣菜製品による新規得意先へ積極的な提案を行いました。また、「ご飯がススム柿ピーキムチ味」等のコラボ発売で認知度向上を図ったほか、公式ファンコミュニティサイト「ピクルス食堂」において消費者との交流を通じ、顧客ロイヤリティの向上に努めました。

製品開発面では、ほどよい酸味と旨味をきかせた、ぬか風味の胡瓜の浅漬の「切れてるぬか胡瓜」やにんにくと唐辛子のピリ辛な味わいに煎りごまの香ばしさがアクセントとなり、おつまみにぴったりの「やみつきになるピリ辛ごま胡瓜」、春夏の期間限定商品として「ご飯がススムうま辛胡瓜」を発売しました。

新規事業では、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)の「飯能ベーカリー POCO-POCO」が、2026年4月に、メッツァビレッジで開催された「森と湖とパンと、ーメッツァのパンマーケットー」、エキュート大宮で開催された「エキナカパンめぐり」に出店するなど、集客力向上のための取り組みを行いました。さらに、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて冷凍食品を開発し、業務用の商品を中心として拡販に取り組んでおります。

サステナビリティへの取り組みとして、当社及び株式会社ピクルスコーポレーションが、健康経営優良法人認定制度により、優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に認定されました。当社グループの本認定は昨年に続き2年連続となります。今後も、健康経営に関する取り組みを継続してまいります。

株式会社ピクルスコーポレーションが2027年2月に会社設立50周年を迎えるにあたり、記念ロゴマークを制定しました。デザインは未来に向け発展する輪の広がりをイメージしており、当期を50周年の節目と位置づけて各種取り組みを展開してまいります。

売上高は、「ご飯がススムキムチ」シリーズについては堅調に推移したものの、消費者の節約志向の影響や、コンビニエンスストア向けの売上が減少したこと、中長期戦略の一つとして掲げている収益性向上施策として、引き続きアイテム数の絞り込みを行ったことなどにより減収となりました。

利益については、売上は減少したものの、天候が比較的順調に推移したことで原料野菜の価格が安定して推移したことや、生産体制の効率化や自動化の取り組みなどにより増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,498百万円(前年同四半期比4.9%減)、営業利益は696百万円(同12.5%増)、経常利益は711百万円(同12.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は473百万円(同11.6%増)となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて724百万円増加し、30,929百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,066百万円、商品及び製品が44百万円それぞれ増加したことと、現金及び預金が230百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて477百万円増加し、10,628百万円となりました。これは主に買掛金が796百万円、短期借入金が300百万円それぞれ増加したことと、未払法人税が348百万円、長期借入金269百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて247百万円増加し、20,301百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が298百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,214	5,983
受取手形及び売掛金	4,550	5,617
商品及び製品	385	430
仕掛品	59	71
原材料及び貯蔵品	281	313
その他	86	98
流動資産合計	11,579	12,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,649	7,503
機械装置及び運搬具(純額)	2,709	2,675
土地	6,527	6,527
リース資産(純額)	75	71
建設仮勘定	6	60
その他(純額)	94	91
有形固定資産合計	17,063	16,928
無形固定資産		
のれん	8	—
その他	68	62
無形固定資産合計	76	62
投資その他の資産		
投資有価証券	872	796
繰延税金資産	548	562
その他	65	65
投資その他の資産合計	1,486	1,423
固定資産合計	18,625	18,414
資産合計	30,204	30,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,913	3,710
短期借入金	400	700
1年内返済予定の長期借入金	439	639
リース債務	13	13
未払法人税等	604	255
賞与引当金	154	60
役員賞与引当金	14	—
その他	2,069	1,981
流動負債合計	6,608	7,361
固定負債		
長期借入金	2,312	2,042
リース債務	54	50
繰延税金負債	19	4
退職給付に係る負債	857	869
その他	299	299
固定負債合計	3,542	3,266
負債合計	10,150	10,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,785	2,770
利益剰余金	16,849	17,147
自己株式	△391	△311
株主資本合計	19,343	19,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270	211
退職給付に係る調整累計額	37	35
その他の包括利益累計額合計	307	246
新株予約権	386	332
非支配株主持分	16	15
純資産合計	20,053	20,301
負債純資産合計	30,204	30,929

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	11,038	10,498
売上原価	8,683	8,036
売上総利益	2,355	2,461
販売費及び一般管理費	1,736	1,765
営業利益	619	696
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	2
持分法による投資利益	12	10
受取賃貸料	5	5
その他	4	4
営業外収益合計	25	23
営業外費用		
支払利息	6	4
賃貸費用	3	2
営業外費用合計	9	7
経常利益	634	711
特別利益		
補助金収入	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	634	712
法人税等	210	239
四半期純利益	423	472
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	424	473

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	423	472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△58
退職給付に係る調整額	△0	△2
その他の包括利益合計	18	△60
四半期包括利益	441	412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442	413
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	283百万円	288百万円
のれん償却額	24	8

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。